

アンケート①

～檜葉町の支援事業に対する事業者等の反応～

※数字から始まる複数の回答が選択肢としてある場合、選択する回答の先頭の数字に○を付すことで選択してください。なお、「その他」を選択した場合は、括弧内に回答を記入してください。また、複数選択が可能か1つのみ選択が可能かについては、各質問で指示していますので、指示に従って回答してください。

Q 1：檜葉町独自の支援事業を知っていますか？ 1つのみ選択可です。

1. 知っている。
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない。
3. 聞いたことがない。知らない。

なお、**Q 1**において、1又は2を選択された方は**Q 3以降**の回答を、3を選択された方は**Q 2**の回答をお願いします。

Q 2：どのような広報手段であれば、支援事業を広く知らしめることができるかを以下から選択してください。なお、複数選択できる場合、もっとも有効な手段であると考えるものを1つ選択してください。

1. 支援事業に関するWebページのURLをメール受信希望者へメール送信する（メール受信希望者は事前にメールアドレスを檜葉町に登録する想定）
2. 支援事業に関するWebページのURLをSNS（twitter, facebook等）に投稿する（SNS利用者が事前に檜葉町アカウントをフォローする想定）
3. 檜葉町の町役場内、ここなら笑店街等の公設施設において、支援事業のポスターを貼る。
4. その他
()

Q 3： 檜葉町独自の支援事業をどのような手段で知りましたか？なお、複数回答がある場合、もっとも有効な手段であったと考えるものを1つ選択してください。

1. 広報ならはで知った。
2. 檜葉町のHPを閲覧して知った。
3. 知り合い、友人、従業員等からの口コミで知った。
4. 檜葉町商工会に紹介されて知った。
5. その他
()

Q 4： 檜葉町独自の支援事業を広く知らしめるために有効であると考える広報手段を選択してください。なお、複数回答がある場合、もっとも有効な手段であると考えるものを1つ選択してください。

1. 現状の周知手段（広報ならは／檜葉町HP）で十分である。
2. 支援事業に関するWebページのURLをメール受信希望者へメール送信する（メール受信希望者は事前にメールアドレスを檜葉町に登録する想定）
3. 支援事業に関するWebページのURLをSNS（twitter, facebook等）に投稿する（SNS利用者が事前に檜葉町アカウントをフォローする想定）
4. 檜葉町の町役場内、ここなら笑店街等の公設施設において、支援事業のポスターを貼る。
5. その他
()

Q 5： 檜葉町独自の支援制度についてお尋ねします。支援・助成額が低いものの支援制度の拡充や支援条件の緩和により幅広い事業者等が支援・助成を受けられるほうがよいでしょうか。それとも、支援・助成金が高額であるものの支援条件が厳しく支援・助成を受けることができる事業者等が少ないほうがよいでしょうか。以下の選択肢から1つ選択して御回答ください。

1. 幅広く事業者等を支援・助成することを優先したい。このため、支援・助成額が低く抑えられても仕方がないと考える。
2. 支援・助成額が事業者等にとって意味のある額となるように高額とすることを優先としたい。このため、支援条件が厳しくなり、特定の事業者等のみが支援・助成されても仕方がないと考える。
3. 上記のバランスについては、檜葉町や檜葉町議会の判断に委ねたい。
4. その他
()

Q 6：支援事業による支援・助成の申請をしましたか？ 1つのみ選択可です。

1. 申請した。
2. これから申請しようと考えている。
3. 検討中。
4. 申請しない。
5. その他
()

なお、**Q 6**において、4を選択した方は**Q 7**の回答を、1又は2を選択した方は**Q 8**の回答をお願いします。

Q 7：申請しなかった理由を以下から選択してください。複数回答可です。

1. 支援・助成してもらえる対象の経費として、賃借料等、支援・助成を希望する経費が存在していなかった。
2. 支援事業における支援の条件（檜葉町合宿支援事業助成制度の場合、宿泊者が10人以上という条件）が厳しすぎて支援を受けることができなかった。
3. 支援事業の支援・助成額が少額であり、手続きを行うための事務経費や手間に見合わないと判断した。
4. 支援・助成のための申請方法が分からないため、申請できなかった。
5. その他
()

なお、**Q 7**で1を選択した方は**Q 7-1**の回答を、2を選択した方は**Q 7-2**の回答を、3を選択した方は**Q 7-3**の回答を、4を選択した方は**Q 7-4**の回答をお願いします。

Q 7-1：希望する具体的な経費を以下から選択をお願いします。なお、複数選択できる回答がある場合、もっとも有効な手段であったと考えるものを1つ選択してください。

1. 家賃等の賃借料
2. 休業中の従業員の休業手当
3. その他
()

Q7-2：具体的にどの条件が厳しいため申請できなかったかを以下から選択
お願いします。複数回答可です。

1. 新型コロナウイルス対策雇用・就業支援助成事業において、新型コロナウイルスに起因して失業したことを証明すること。
2. 新型コロナウイルス対策経営支援助成事業において、新型コロナウイルスに起因して売上げが減少したことを証明すること。
3. 新型コロナウイルス対策経営支援助成事業において、売上げ減少が30%以上であること。
4. 新型コロナウイルス対策経営支援助成事業において、売上げ減少率の計算に去年度の売上げを用いなければならないこと。
5. 檜葉町合宿支援事業助成事業において、宿泊者が10人以上であること。
6. その他
()

Q7-3：各事業に対して、最低、どのくらいの支援・助成金が必要かを御回答
お願いします。以下の括弧内に回答を記入してください。複数回答可です。

● 新型コロナウイルス対策雇用・就業支援助成事業

■ 事業者向け

フルタイム雇用者 () 万円)

短時間雇用者 () 万円)

極短時間雇用者 () 万円)

■ 居住者（移住者）向け

町内居住者 () 万円)

県内移住者 () 万円) 移住後 () 万円を () 年間)

県外移住者 () 万円) 移住後 () 万円を () 年間)

※現行の支援事業においては、県内移住者の場合、移住後10万円を2年間
支給し、県外移住者の場合、移住後10万円を4年間支給します。

Q 8：檜葉町独自の支援事業について、改善が必要だと考えるところを以下から選択してください。なお、複数選択できる回答がある場合、もっとも改善が必要だと考えるものを1つ選択してください。

1. 支援・助成の対象とする経費が異なる、他の支援事業（賃借料を経費としこれを補助する支援事業等）も必要である。
2. 支援事業における支援の条件（檜葉町合宿支援事業助成制度の場合、宿泊者が10人以上という条件）は、もっと厳格／緩和するべきである。
3. 支援事業の支援・助成額は、もっと増額／減額するべきである。
4. 支援・助成のための申請方法については、もっと分かりやすく改善する必要がある。
5. その他
()

なお、**Q 8**で1を選択した方は**Q 8－1**の回答を、2を選択した方は**Q 8－2**の回答を、3を選択した方は**Q 8－3**の回答を、4を選択した方は**Q 8－4**の回答をお願いします。

Q 8－1：必要と考える具体的な経費を以下から選択をお願いします。なお、複数選択できる回答がある場合、もっとも有効な手段であったと考えるものを1つ選択してください。

1. 家賃等の賃借料
2. 休業中の従業員の休業手当
3. その他
()

Q 8－2：具体的にどの条件を厳格／緩和するべきかを以下から選択をお願いします（複数選択可）。なお、選択した回答内に厳格／緩和の選択肢がある場合、何れか一方に○を付してください。また、選択した回答内に括弧がある場合、括弧内にも回答を記入してください。

1. 新型コロナウイルス対策雇用・就業支援助成制度において、新型コロナウイルスに起因して失業したことの証明は、もっと（厳格／緩和）化する方向で運用すべき。
2. 新型コロナウイルス対策経営支援助成制度において、新型コロナウイルスに起因して売上げが減少したことの証明は、もっと（厳格／緩和）化する方向で運用すべき。
3. 新型コロナウイルス対策経営支援助成制度において、売上減少は、
() %以上であれば支援をするようにしたほうがよい。

4. 新型コロナウイルス対策経営支援助成制度において、売上減少率の計算に
去年度の売上だけでなく（ ）の売上も用いることが可能と
するべき。
5. 檜葉町合宿支援事業助成制度において、宿泊者は、（ ）人以上であ
れば支援をするようにしたほうがよい。
6. その他
（ ）

Q8-4：申請方法をどのように改善するべきかを以下から選択お願いします。
なお、複数選択できる回答がある場合、もっとも有効な工夫であったと考えるものを1つ選択してください。

1. 申請のためのマニュアルを作成し、檜葉町HP等で周知すること。
2. 申請についての窓口を檜葉町に開設し、窓口へ伺えば申請書の作成の手伝いをその場でしてくれること。
3. 申請についての電話相談が可能な連絡先を、檜葉町HP等で周知すること。
4. その他
()